

# 強震観測施設の一部手抜き工事、再発防止に理解を

防災科学技術研究所が、雑草防止のため、平成17年度に実施した「強震観測施設」での土間コンクリート打設工事において、一部地域で手抜き工事が発生し、関係する方々にご心配とご迷惑をお掛けいたしました。ここに、お詫び申し上げますとともに、手抜き工事があった近畿地域の再工事が終了いたしましたので、現状等を報告いたします。なお、今回の工事部分は、施工概略図に示すように、強震計設置用基礎とは縁切りをされているため、観測

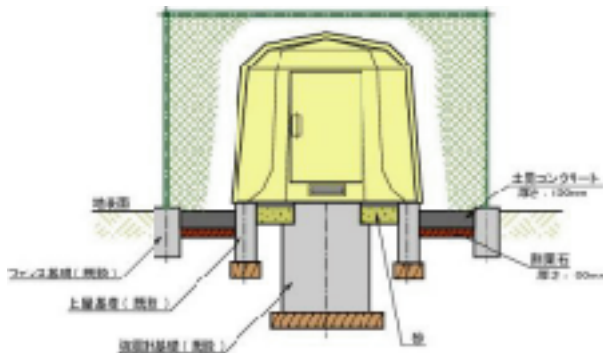
への影響はなく、データ収集と提供は問題なく行われています。

土間コンクリート打設工事は、69観測施設において実施いたしましたが、近畿地区7箇所において手抜き工事があった旨の情報が寄せられたため、調査した結果、その全施設においてコンクリート厚の不足等が判明したため、元請業者に工事のやり直しを指示し、工事は8月20日迄に完了しました。残り62箇所については、中部地区以西の9箇所において問題があると判断し、元請業者に調査を指示しました。調査の結果、仕様を満たしていない施設では、再工事を行います。

防災科学技術研究所では、本件を教訓として、契約事務の見直し、監督・検査体制の強化等再発防止策を定め、業務の適正な執行に努めています。

今後とも、強震観測事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

(問い合わせ先：企画部企画課)



強震観測施設施工概略図



土間コン打設前の状況



土間コン打設後の状況